

山元町 3・4・5 丁目町内会（第 6 地区連合町内会）の例

町内会へホームページの導入を提案され、実務を担当されている庶務・広報部長の中野義男さんにお聞きしました。

Q. どうして町内会のホームページを作ろうと思われたのですか？

A. 私が最初に班長になったとき、役員の方は手書きの原稿を修正液で直してコピーということをしておりました。ですので、こんな方法もありますよと、パソコンで作成し印刷して見せたところ喜ばれました。

地域のイベントに関しても、紙媒体だけではなく（いつでも見られる）ホームページで、映像などの情報を発信することが必要だと思い、2007年に初代のHPを提案し作りました。

【現在のホームページ画面】



転入してきた方から「住居選びの時にHPを見た」、「どんな地域行事があるかHPで知った」と言われることがあります。町内会規約の内容や掲示板の場所などを尋ねられたら「HPでご覧になれます」と案内すれば手間が省けます。運営面では、イベント担当委員がHPで過去の事例を復習して企画に役立てることができる、といった効用もあります。

Q. ホームページ制作にあたって、どんな点を工夫されましたか。

A. いろいろ試した結果、私たちの結論は、「フリーのブログサービス（※）」の活用でした。重用なことは「つまらないこだわりを捨てること」「費用をかけないこと」です。デザインや構成にこだわらないで、「更新のしやすさ＝スピーディーな情報発信」が出来て、簡単なノウハウを習得することで、後任者へのリレーも簡単です。

（※ ホームページを一から構築する知識、技術が無くても比較的簡単に作成できる。）

Q. 負担に思われることはありますか？

A. みんなが楽しめることをやるのが好きなので、負担には思いません。



Q. 運営はおひとりですか？

A. 現在は、私とこども課長（※課と係がある）の2人です。出来れば役員がそれぞれアップできると良いと思いますが、みなさん得意・不得意はありますので。

Q. 住民目線に立つことを心掛けているそうですね。



A. 運用では会員が何を望んでいるか、住民目線に立つことが肝要です。例えば、親の関心が高いこども関係の行事には、いつどんなものがあるか。HPですぐに調べられるのは便利ははずです。

町内会は、働き手の世代に対して弱いと感じます。この世代の交流がもっと盛んになれば、まちの活性化になります。ホームページがあれば、会社員が日中、見ることもできる訳です。

Q. 地域のボランティア活動などを募集したりして、参加する機会を提供していますか？

A. メールやLINEなどで案内・募集する際にアドレスのリンクを貼り、対象者により具体的に理解していただけるようにしています。

Q. 地域の若者や学生との関係を築くための取り組みは考えられていますか？

A. オファーがあれば対応しています。先日は、このような取り組みをしました。

ライマース太陽さんと「根岸基地ドキュメンタリー」の第1回目懇話会を行いました。

<https://y-345.hatenablog.com/entry/2022/10/15/113914>

根岸米軍住宅地区の記憶の記録が完成しました。

<https://y-345.hatenablog.com/entry/2023/12/01/060348>

※ 居住者目線で記録された、貴重な映像です。

◆インタビューの内容は、主要部分を中心に編集いたしました（2024年2月 地域振興課）